

# 低コスト造林 ～成果の見える化～

## 1. ねらい

造林事業の低コスト化を推進するため、取組成果をわかりやすく発信します。

## 2. 概要

契約金額での比較では、D材(林地残材)の搬出等による無地拵や、下刈の隔年実施による下刈省略等による低コスト化の成果が把握できません。

このため、各作業を仕様別に集計すると共に、省略状況を把握することで「成果の見える化」を図りました。

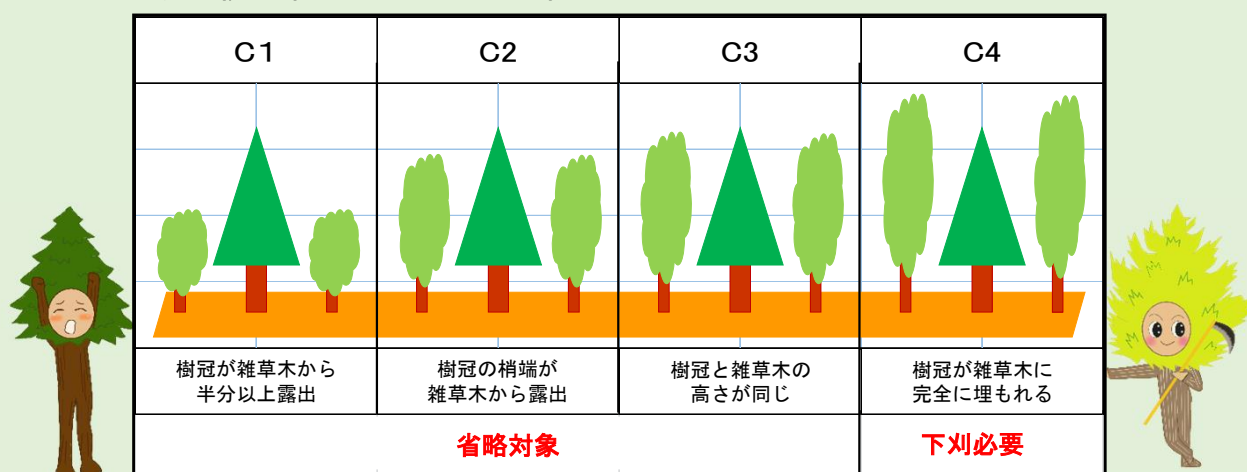
## 3. 成果(令和4年度実績)

### ◎ 下刈省略

植栽後年数	面積(HA)	割合
1年目省略	86	42%
2年目省略	33	16%
3年目省略	19	9%
4年目省略	24	11%
5年目省略	44	21%
計	205	100%



- \* 樹種はスギ・ヒノキ・カラマツ。
- \* 下刈対象面積は約1,023ha。(実行面積は約774ha)
- \* 下刈対象面積の約24%を省略。(約36百万円を削減)



※出典: 山川ほか(2016)スギ植栽木の樹高成長に及ぼす期首サイズと周辺雑草木の影響、日林誌98:241-246

- \* 下刈のほか、地拵、植付、シカ被害対策についても成果の見える化を図っています。

## 4. 問い合わせ先

森林整備課 電話026-236-2566